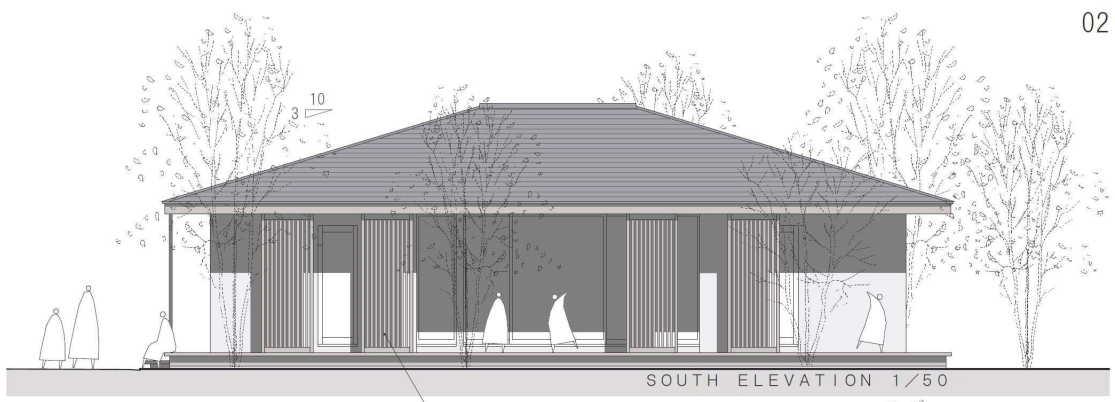
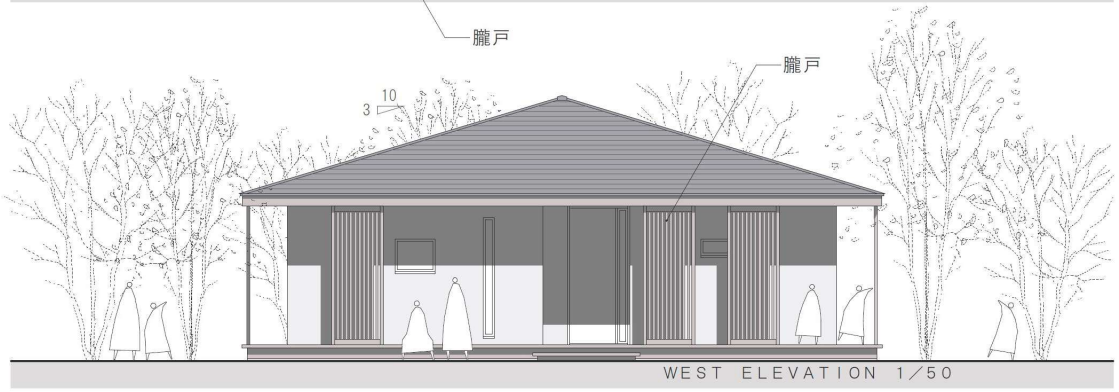
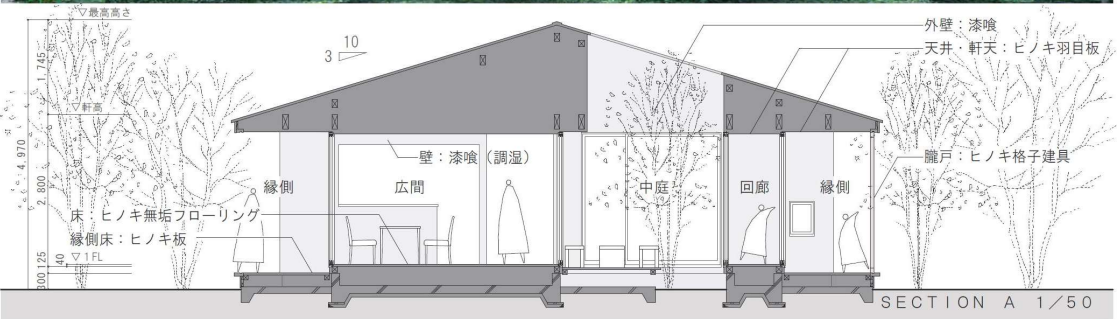
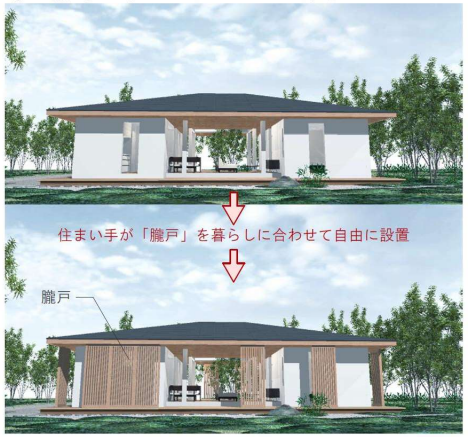






① 開放的に風景を楽しみながら プライバシーや耐震性も確保する

② 「瓏戸」で 住まい手がファサードを完成させる



○ 建築概要

構造・規模：	木造・平屋
敷地面積 ：	201.24㎡ (60.87坪)
建築面積 ：	117.59㎡ (35.57坪)
1階床面積：	102.22㎡
延床面積 ：	102.22㎡ (30.92坪)
建ぺい率 ：	58.44%
容積率 ：	50.80%

○ 「 瓏戸 （おぼろど）」が廻る家

「瓏戸」とは京都産ヒノキを活用した格子戸で、これを採光や通風、日射遮蔽、目隠し、ファサードデザイン等の目的で回廊状 縁側 の外周面に配置します。

環境負荷を考慮しながらも、豊かな自然風景を存分に享受し、さらに、のびのびと 自分らしい 暮らしをするための建具で、同じ京都産ヒノキで仕上げた縁側の床や天井と併せて、木目のやさしい雰囲気の住宅を演出します。（外観イメージ参照）

この「瓏戸」は 設置枚数 も 設置位置 も住まい手の自由で、必要と思う箇所に好きな分だけ設置し、自分らしい暮らしを気兼ねなく楽しむことができます。

また、移動や取り外しも自由なので、住まい手が自分の手でファサードをつくる"新たな楽しみ"も創出します。（上図②参照）

「瓏戸」の設置によってカーテンが不要となる等、経済性を考慮しています。そして、生産性 も考慮して、「瓏戸」のディテールは全て同じにします。
さらに、この住宅は 特殊な構造とせず 一般的な 木造平屋（４号建築物）とし、経済性や造りやすさ・普及を優先します。
また、光や風を取り込み開放的にしながらもプライバシーを確保し、且つ、バランスの良い耐震構造（耐震等級３）とするため、４隅に耐震コアのある計画とします。（上図①参照）